

3. 北関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連	良くなる	家電量販店（店長）	・徐々に東日本大震災の復興需要が出てくる上、7月24日のアナログ停波に向けての駆け込み需要が出てくる。
	やや良くなる	一般小売店〔家電〕（経営者）	・地上デジタル放送対応テレビとエアコンの販売等に対して期待できる。
		スーパー（総務担当）	・今が最悪の状況のため、今よりは良くなるが、前年比で見ると相当悪い。
		コンビニ（経営者）	・商品等の入荷が今よりも安定すると思われるので、やや良くなる。
		自動車備品販売店（経営者）	・災害の影響で会社が無くなったり、職を失ったりする人も回りに出ているが、逆に復興のためにいろいろと企業が動いているところもあって、ある程度活性化する面もあるので、やや良くなる。
		旅行代理店（副支店長）	・東日本大震災の影響により、今月は最悪の状態であるが、政府、民間一体となった復興施策により、現状からの好転は望めると思う。ただし、福島第一原子力発電所の後遺症は一定程度後を引くと考えられるので、その動きは鈍い。
		遊園地（職員）	・東日本大震災発生から数日が経過したものの、計画停電や余震が続いており、レジャー関連施設への出控え傾向は継続する。しかし、2～3か月先は地震の発生した今よりは回復傾向に向かう。
		その他レジャー施設〔アミューズメント〕（店長）	・休業中でも営業再開を待つ問い合わせの電話が多く入っており、営業が再開できれば期待はできる。ただ、電力不足の問題が続く限りは、営業時間短縮や節電対応などの協力が必要となるため、難しい営業状況となる。
		設計事務所（所長）	・少なくとも建設業界はこれまでの低迷を多少脱却するものと考ええる。また、この業界の裾野が広いことから、全体の景気も多少上向く。
	変わらない	百貨店（販売促進担当）	・東日本大震災による消費マインドの低下は当分続く。また、計画停電による営業時間の縮小も消費低下に拍車を掛けている。
コンビニ（経営者）			・東日本大震災で発注制限がかかったり欠品続きだったりで大変で、不況になるか特需になるか、今ほど商売人が試されているときはない。また、たばこの出荷制限が始まってたばこ特需が発生するなどよく読めない中で、何の在庫をどのくらい持ったら良いのか判断するのが大変難しくなってくる。
コンビニ（経営者）		・2～3か月では製造業等の回復が望みにくい。	
衣料品専門店（店長）		・福島第一原子力発電所の復興次第なので先は読めないが、消費者の心理は安定していない。	
家電量販店（営業担当）		・計画停電もあり、被災地以外でも活動に時間がかかる状況になる。	
乗用車販売店（販売担当）		・今回の福島第一原子力発電所の事故と東日本大震災はあまりにもことが大きすぎて、観光地が復活するかどうか分からないため、2～3か月先の周辺観光地やホテル業関係の景気は全く読めない状況である。客に車を買う意欲が無く、来店しないため、悪い状況は2～3か月だけでなく、もっと続く。	
通信会社（総務担当）		・災害などの影響により、一部商品に消費が殺到し、偏っている状況が長期化しそうである。	
通信会社（局長）		・東日本大震災復興、福島第一原子力発電所問題の行方等、不安要素が多いなか、節電などの節約ムードが広がっており、短期的な景気改善の期待は薄い。	
ゴルフ場（業務担当）		・東日本大震災の後、建物及びコースには被害は無かったが、客の心理的影響が大きく、取り込んでおいたコンペの大半がキャンセルになっている。現在は被害の無かった人がほぼそとプライベートのゴルフをやっている状況である。4月は取り込みのなかで半減しているので、コンペ自粛のムードが一掃されないと上向きは期待できない。	
やや悪くなる		商店街（代表者）	・夏のキャンプ用品として注文しておいた寝袋が全部東日本大震災地域への物資優先のために品不足になっている上、買い控えも予想される。
	一般小売店〔家電〕（経営者）	・エコポイント制度が終了し、アナログ放送停止を目前に最後のテレビの売上拡大を図りたいところであるが、東日本大震災と福島第一原子力発電所の影響がどこまで響くのか予測できない。偏った消費がなくなることを願いたい、製造元の再開が出来ない事には売りたいものも売れないので全般に鈍い状況になる。	

百貨店（営業担当）	・東日本大震災の影響でまだまだ消費意欲は下がって行く。
百貨店（営業担当）	・東日本大震災の影響がまだまだ当分続き、非常に厳しい状況である。
百貨店（営業担当）	・東日本大震災と放射線の問題で消費マインドが冷えていて、すぐには戻ってこないで、若干売上等は落ち込む。
スーパー（店長）	・現在、消費者が買いためした商品が使われきるまで非耐久消費材は厳しくなる。復興に向けての需要を期待する場合でもない。
スーパー（総務担当）	・電力問題が解決するまでは節電になるので、景気は非常に良くない方向に向かっている。商品はいつそろうのか、あるいは物流関係はいつ整うのが問題で、今回の被災状況のなかでは先行きは非常に良くない。
スーパー（統括）	・東日本大震災と異常気象による農産物価格の高騰と加工食品の品不足が予測され、中東情勢に端を発する原油価格の高騰によるガソリン、灯油の値上げも相まって、消費意欲にブレーキが掛かることが懸念される。
コンビニ（経営者）	・東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所事故の放射線の影響が非常に計り知れないため、何が起るかもまだ全然分からない状況なので、結構影響を受けることが懸念される。やはりいろいろな面で、今のようにはなかなかうまくいかない。
コンビニ（経営者）	・東日本大震災による町全体への被害が大きいため、生活が質素になる。
コンビニ（経営者）	・東日本大震災後の社会不安によって消費行動が停滞し、計画停電で北関東への観光客は大幅に減るので、売上が大きく減るのではないかと心配している。
コンビニ（店長）	・今世の中がこういう状況なので、あまりぜいたくな物は控えるようになってくる。当店はコンビニなので消え物や生活必需品の分では若干持ち直すとは思いますが、今よりはやや悪くなってくる。
衣料品専門店（経営者）	・東日本大震災は当地でも震度6強を記録し、各事業所はもちろん、個々の客の自宅建物や室内の被害も甚大である。また、福島第一原子力発電所の半径100キロメートル圏内にあることや計画停電は客の消費意欲を大きく減退させている。
乗用車販売店（営業担当）	・新車の販売があまり見込めない中、程度の良い中古車中心の営業となるが、車両確保もかなり難しい状況が続く。
スナック（経営者）	・先行不透明で何とも言えないが、悪くなる。
観光型ホテル（スタッフ）	・東日本大震災、福島第一原子力発電所の災害に伴い、インフラ及び食料等が規制され、産業界への影響が出て来ている。
旅行代理店（従業員）	・福島第一原子力発電所問題が長期化しているため、やや悪くなる。
タクシー運転手	・東日本大震災の影響が大きい。
通信会社（経営者）	・計画停電による業務の一時停止が長期間続くと様々な業務に影響が出て、先行き不安による消費の引き締めが一層強まる。
ゴルフ場（副支配人）	・3月11日の東日本大震災以来、現在までずっとキャンセルが続いており、キャンセル件数は約140件ある。これから先、どういう風に地震の影響があるか分からず、先の見通しが全く付かない。
ゴルフ場（支配人）	・ゴルファーのマインド低下から、コンペ開催がなくなっている。当コースは地元客中心のため、予約状況はほぼ前年並みを示している。コンペ開催組にはチャリティーコンペを勧め、東日本大震災の義援に協力してもらっている。
その他レジャー施設 [アミューズメント] (職員)	・東日本大震災と計画停電による一種の特需状態により異常な数字が出ているが、あくまでも特別なことであり、これが落ち着けば元に戻る。
その他サービス[清掃] (所長)	・東日本大震災の影響で給料等の削減も報道されており、厳しい状況が続く。
その他サービス[立体 駐車場](従業員)	・客がいろいろなものを買占め、ガソリンもなく、電車もまだ不通で移動の方法も確立していないため、今後客数が増える予想は立てにくい。また、売上も3～4割減という相当なダメージを予想している。
住宅販売会社（従業員）	・東日本大震災により、今後、景気が減速することは明らかと皆が考えており、建物新築の意欲は全く感じられない。復興需要はもう少し先である。
悪くなる	商店街（代表者） ・東日本大震災の後遺症として、各種イベントの自粛や夏に向かった電力不足などがあり、先が見えない。

商店街（代表者）	・ガソリンの高騰と福島第一原子力発電所の放射線が落ち着くまで客は町に出でこない。生活に必要なものだけ買い求めて、寄り道はしない。
商店街（代表者）	・郊外の超大型店が閉店したので、その影響がいよいよこれから始まる。
一般小売店〔精肉〕（経営者）	・東日本大震災の影響がいくらか落ち着いてきて、品物が出てきたが、計画停電等で客が動いてくれないので、良くなる望みはない。
一般小売店〔ワイン〕（総務担当）	・明らかに東日本大震災の影響で自粛モードに入っている。当社はし好品を扱っているため、今後が心配である。
一般小売店〔衣料〕（経営者）	・東日本大震災は未曾有の大惨事なので、急には回復しない。被害者のご不幸もあり、当店も我慢が続く。
一般小売店〔乳業〕（経営者）	・東日本大震災の影響で電力供給量の回復と平行して製造業の立ち直りが不透明であり、消費意欲の減退が確実に予想される。
百貨店（営業担当）	・景気はやや改善している感があったが、東日本大震災及び計画停電の混乱が必需品を除いた消費マインドに影響していると感じる。今までとは別の意味での将来不安が景気を後退させる。
百貨店（販売促進担当）	・計画停電による営業時間の極端な短縮に加え、ガソリン供給不足により、来店したくても当店まで来れないという客が非常に多い。また、来店しても不要不急の商品は見向きもされず、ガソリンの供給不足は改善方向にあるものの、計画停電が今後も続くと営業時間が固定できないため、客の足がさらに遠のき、悪化する。
スーパー（経営者）	・東日本大震災と福島第一原子力発電所の影響がさらに出る。
スーパー（経営企画担当）	・商品が思うように入荷しないことと、家庭内備蓄が沢山あることや、花見の自粛傾向などを考えると先々の消費の伸びは期待できない。また、自社の建物、設備、商品の被害は、特需効果ではとても賄えない金額である。
コンビニ（経営者）	・当分の間、商品が入る見込みが無いので、しばらくはこのような状態が続く。
コンビニ（経営者）	・3月11日の東日本大震災によって、まず商品が納入されてこない上に、節電によって営業が出来ない状態がいまだに続いている。福島第一原子力発電所の放射線汚染が拡大しているため、今後はますます悪くなる。
コンビニ（店長）	・東日本大震災の後、平常であれば力強く回復していくと思うが、福島第一原子力発電所問題で停電やいろいろなことが起きそうなので、どう転んでも未来は暗い。
衣料品専門店（経営者）	・東日本大震災の後、流通、客の買い控えなどで、全く予想がつかない。
衣料品専門店（統括）	・例年はこれから徐々に良くなる時期であるが、先日の東日本大震災の影響が大変悪く、だんだん悪い方に安定しなければいけないと思う。地震から1週間ほどは街に客どころか人影すら見えなかった。各地で催事やイベントの中止が聞かれ、消費に対する意欲が無くなってきているのではないかと心配している。
衣料品専門店（販売担当）	・自然災害が元なので仕方ない部分はあるが、この状況がこのまま推移していくと思われるので、消費行動に向かわない環境が続いていき、気温が上がるのとは逆に消費は停滞していく。イベントなどもほとんど中止なので、精神的な部分でも安心感が得られない。計画停電もあって、残念ながら悪くなっていく状況である。
乗用車販売店（経営者）	・東日本大震災のため、物流の滞りと購買意欲の落ち込みが考えられる。
乗用車販売店（従業員）	・復旧活動が進んでいるが、福島第一原子力発電所の新たな不安が長引く可能性がある。今後の対応次第で変わるが、大変厳しい状況になる。
乗用車販売店（営業担当）	・東日本大震災の影響で生産の見通しが立たず、ガソリンの供給安定の情報も期待できないのが現状で、高額商品の購入は控えられるため、悪くなる。
乗用車販売店（販売担当）	・東日本大震災の後は客が動いていないので、4、5、6と月を追うごとに悪くなって、全く売れなくなる。
住関連専門店（統括）	・東日本大震災による経済環境の悪化により、消費マインドが下がる。
高級レストラン（店長）	・食材の品不足や価格高騰、燃料価格の高騰や計画停電などが長期化すれば、零細企業は経営を続けられない。
一般レストラン（経営者）	・同業者間でも、東日本大震災の影響で原材料価格の高騰が予想され、不安になっている。さらに、食材卸も値上げや変更等相当の悪影響が予測される。

	一般レストラン（経営者）	・福島第一原子力発電所の問題が解決してくれない限り、不安な状況が続く、社会混乱が起きる。自粛ムードを少し緩和しなければいけない。
	一般レストラン（経営者）	・東日本大震災の復興にまだまだ時間が掛かると思うので、全体的に消費傾向が下がり、復興するまでは厳しい状況が続く。
	一般レストラン（経営者）	・当地区では東日本大震災等の被害はそれほど大きくないが、福島第一原子力発電所によりいろいろな問題が起きているので、景気は非常に悪くなる。
	スナック（経営者）	・今回の東日本大震災の影響もすごいが、本当に良くなる要素が一つも見付からない状態で、他店がどうなのか気になる。
	観光型ホテル（営業担当）	・放射線漏れの問題、電力不足、計画停電による操業規模の縮小などによる影響を鑑み、今後しばらくの景気回復は極めて困難だと思うが、こんな時こそ通常の消費活動と経済活動が必要で、まずは多くの被災者を支援することが先決である。
	都市型ホテル（経営者）	・計画停電の影響で自動車生産工場の操業停止等、東日本大震災の2次、3次被害がある。
	都市型ホテル（支配人）	・ホテルが再復興し、開業出来たとしても、通常のビジネス客、観光客、行楽客が戻ってくる様子は見えない。これらの客の動きが出て来るのは相当、後になる。
	都市型ホテル（スタッフ）	・今後計画停電などの予定がある場合は、会議や宴会の予約が非常に取りづらい状況である。宿泊はネット関係が非常に落ちており、通常の売上の3分の1近く落ち込んでいる。
	都市型ホテル（スタッフ）	・この東日本大震災において、しばらくの間は景気は悪くなり大変な状況である。飲み食いは自粛している状況で、本来であれば歓送迎会などで非常ににぎやかな活気がある時期であるが、2～3か月は無理である。
	旅行代理店（副支店長）	・風評被害と計画停電で確実に旅行者が激減し消費が落ちる。今後は自粛ムードが消費低迷につながり、最悪の景気となるが、初めての地震のため、予想がつかないのが実情である。
	タクシー（経営者）	・計画停電が収まるまでは、この先も悪くなる。
	通信会社（販売担当）	・東日本大震災による復興の目途が立たないことや、福島原子力発電所の復旧目途が立たないことで社会全体に不安感がある。
	テーマパーク（職員）	・東日本大震災の影響や計画停電などの懸念から旅行が衰退し、回復する見通しが立たない。
	競輪場（職員）	・東日本大震災の影響で開催が中止となり、今後とも見通しが立たない状況なので全く予断を許さない。
	美容室（経営者）	・今年中は計画停電を実施すると言われているため、これから先、客数が半分以上減少すると予測される。電気が元に戻らない限り、景気は良くならない。また、卒業、入学のイベントが終われば客数が減少し、その影響で全体的に低迷となる。
	設計事務所（経営者）	・災害の影響は徐々に出てきていて、現場で資材の調達ができず来なかったり、これから材料の価格の高騰が予想されるため、すでに計画を延期した客もいる。災害の復興が優先されると思われ、それ以外の地域で資材調達が困難な状況になるなど影響のは大きい。
	設計事務所（所長）	・この度の災害により、今の悪い景気が相当の期間に渡り一段と悪くなり、本当のどん底まで悪くなる。
	住宅販売会社（従業員）	・大災害により、経済的な損失に加え、消費者の高級財の購入意欲は大幅に低下するため悪くなる。
	住宅販売会社（経営者）	・東日本大震災による計画停電に随分痛手を受けて、営業時間もままならない状況である。
	住宅販売会社（経営者）	・東日本大震災のためにすっかり沈滞ムードになり、消極的になってしまった。賃貸も売買も共に問い合わせも引き合いもなくなる。
	住宅販売会社（経営者）	・福島第一原子力発電所の事故が深刻な状況であることから、放射線に被ばくする可能性のあるものは販売不振となることは必須である。よって、現状よりは確実に悪くなる。
企業動向関連	良くなる やや良くなる	-
	プラスチック製品製造業（経営者）	・取引先企業が回復して生産が始まれば、その分だけ受注も納入高も拡大する。
	建設業（経営者）	・災害復旧関係の需要が高まる。

	不動産業（営業担当）	・緊急避難的に需要が増える可能性があり、通常の経済状態ではないが、賃貸関係の不動産は少し上向きと思える。ホテルに関しては、近隣のホテルや旅館には傷が深いところもあるが、おかげ様で当社は大きな傷は無く、再開の目途も見えるので、復興やいろいろな支援等の宿泊需要があると考えている。
変わらない	窯業・土石製品製造業（経営者）	・インターネット販売は低迷ながらも動きがあるが、商品受注に対しての予想は全く付かず、それにも増して教室運営及び店舗販売が変わらず低迷しており、先の予想すら立たない。
	窯業・土石製品製造業（総務担当）	・依然として悪い状況が続いているが、今回の東日本大震災の影響が、売上、販売等にどう出るにかかっている。
	電気機械器具製造業（経営者）	・東日本大震災や福島第一原子力発電所の影響がどう出てくるか分からない。今はある仕事をやるだけで、状況が全くつかめない。
	電気機械器具製造業（経営者）	・東日本大震災の影響によって電話システムの増産の可能性はあるが、電力供給の問題があり現時点では判断ができない状況である。
	輸送用機械器具製造業（経営者）	・自動車関連以外の取引先が7～8社あり、良い状況なので、今後2～3か月も変わらない状況が良い状況で推移する。
	その他製造業〔環境機器〕（経営者）	・6月までは装置の生産や直売などで受注したものがたくさん残っているため変わらない。来年度はいつもの年と違うので全く見えない。
	経営コンサルタント	・既に建設資材関係に需要増加を予感させる動きがあり、実際に品不足の物もあるが、物流を促進させるための道路、燃料供給等のインフラ回復の進展具合に掛かっている。また、観光産業や地方の飲食業等におけるマイナスの消費態度の進行が懸念される。
やや悪くなる	食料品製造業（経営者）	・東日本大震災災害だけでなく、福島第一原子力発電所の影響もあり外出等を控える傾向があり、すぐには回復しない。
	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・相変わらず価格競争が激しい。
	化学工業（経営者）	・東日本大震災の余波、計画停電、燃料不足、石油製品の値上げ等と、あたふたとしていて先の計画がまるで立てられない。
	金属製品製造業（経営者）	・やや悪くなるというより、計画停電次第で今後の見通しが全く付かない状態である。
	一般機械器具製造業（経営者）	・東日本大震災の深刻なダメージが更に広がっていく可能性が大きい。
	一般機械器具製造業（経営者）	・3月11日に発生した東日本大震災により、1週間は操業を完全に停止せざるを得ず、その後は受注が大幅に低下した。今後の見通しも立てられないが、3か月後くらいから徐々に立ち直っていく。
	一般機械器具製造業（経理担当）	・東日本大震災と津波、福島第一原子力発電所の問題という大きな問題を抱えているため、復帰するのは当分大変である。
	電気機械器具製造業（営業担当）	・今回の東日本大震災による影響、また、4月からの原材料の値上げが販売価格に転嫁できないこと等、仕事量が少ない状況で、さらに厳しさが増す。
	輸送業（経営者）	・東日本大震災の影響が更に強く出る。
	輸送業（営業担当）	・福島第一原子力発電所の事故による大手電力会社等の計画停電により、各取引先の生産工場、また出荷場の時間等、その他が制限されることによって物量も落ち込む。また、燃料高のためコストがかさむ上、協力会社の確保が難しくなっている状態である。夏場に向けて輸入も増え、その分商品が増える見込みもあるので現状を維持しているが、厳しい状況である。
	金融業（調査担当）	・東日本大震災の影響は少しずつ復興に向かっていくと思われるが、福島第一原子力発電所事故の不安が払しょくされるまでは不透明な状況が続くとみられる。
金融業（経営企画担当）	・東日本大震災の影響で景気はやや落ち込む。	
不動産業（管理担当）	・東日本大震災の影響による混乱は計画停電がひと段落しそうな夏には収まりそうではあるが、テナント入居の延期など、マイナスの影響の方が大きい。	

	新聞販売店 [広告] (総務担当)	・スーパー、量販店ではまとめ買い自粛の呼びかけもあり、通常の売上を下回り始めたそうで、消費者マインドが急激に落ちている。旅行会社では、中東の政情不安で旅行者が減少していたことに加え、今回の東日本大震災で旅行どころではないとの心情からキャンセルが続き、5月の連休明けまで企画が立てられない状況とのことである。
	社会保険労務士	・今中止されているイベントなどの催物が再開されないと、人の動きが出てこないため、しばらく景気は悪くなる。
悪くなる	食料品製造業 (営業統括)	・東日本大震災の影響はますます深刻になり、消費者の買い控え、工場見学者の減少、ホテル関係のキャンセルと、大変厳しい状況になりつつある。
	食料品製造業 (製造担当)	・原料価格の先の見通しが立たない。食料品は東日本大震災の影響で動きはあるが、利益が取れない状況に追い込まれる。
	出版・印刷・同関連産業 (営業担当)	・東日本大震災の関係で、イベント等の中止があり、印刷物がなくなってきている。また、紙が入らない状況で、客との交渉が大変難しくなっている。
	電気機械器具製造業 (経営者)	・福島県内にある会社が製造できなくなった代替で当社に注文が来たため、受注量が10倍以上となっている。自動車関係では当社は対米輸出用の部品供給のため、受注は落ちない。東日本大震災で当社だけが多くなっている負い目を感じているが、地震前後ではまるきり状況が変わり、今は生産が間に合わなくて四苦八苦している。また、部品が入らず、受注量がこなせるかが問題になる。しかし、周辺の会社は厳しい状況が続いているところが多い。
	輸送用機械器具製造業 (総務担当)	・東日本大震災で主力メーカーも部品関係が入りづらい状況の中で生産計画が立てられないとのこと、主力メーカーからの受注状況は全く見通しが立たない。まずは資金の手当てをどうするか、次に社員をどうするかという経営上の難しい選択を迫られそうである。非常に不透明感も強いし、全く先行きの見通しが見えない。
	その他製造業 [宝石・貴金属] (経営者)	・計画停電の余波で4月上旬に企画されていた大規模な展示会が中止された。また、小売展で予定していた展示会も延期する等の動きがあり、ここ2～3か月見込んでいた売上をカバーできる見込みが立たない。
	金融業 (役員)	・この地域における経済活動への影響が日に日に拡大している。
	広告代理店 (営業担当)	・中小企業は体力がないので、多分廃業が多発する。
	その他サービス業 [情報サービス] (経営者)	・東日本大震災による市場規模の縮小と、計画停電や福島第一原子力発電所のあおりで、急激に景気が悪化し、新規投資どころではなくなってきた。今後厳しい状況が長期に渡り続くと思われる。
雇用 関連	良くなる やや良くなる	-
	人材派遣会社 (経営者)	・東日本大震災の関係で一時的にいろいろな会社リズムが狂い大変なことになったが、すぐ復旧する。
	職業安定所 (職員)	・アジア圏を中心としたスマートフォンの需要がまだまだ高く、また、海外での自動車の需要がまだまだ高いことを受け、IT関係、デジタル関係、自動車部品関係の仕事の受注量は減っておらず、この状況が続くものと思われるので、今後はやや良くなる。
	変わらない	学校 [専門学校] (副校長)
やや悪くなる	人材派遣会社 (管理担当)	・食品関連企業の派遣は伸びているが、自動車関連の派遣はストップしている。総合的に考えると自動車企業の落ち込みは食品企業ではカバーできないと試算している。
	求人情報誌製作会社 (経営者)	・当分の間は、職種によって、東日本大震災の被災地に対して自粛をしていく企業が多いので、景気の悪化は避けられない。
	職業安定所 (職員)	・観光業界において、客足の減少による業績不振により期間雇用者の雇止めを行うなど、東日本大震災の影響を理由とした雇用の停止、募集、採用計画の見直しを行う企業が確認されており、今後の状況は非常に厳しい。
	職業安定所 (職員)	・計画停電により、事業所内があたふたしている。現在は部分休業等により、製造関係等の企業では、生産量がかなり落ち込んでいると思われるため、この先の停電等にもよるが、景気は下降するのではないかと。

	民間職業紹介機関（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災の影響で、大手製造業は海外展開を加速させ始めており、韓国、中国等、東南アジア諸国は、日本からの受注獲得に活発な模様である。日本への海外からの発注は、パスする方向が目立ち始めており、大きな流れに変化が見え始め、不安な状況がしばらく続く。海外からの受注獲得等、日本企業の逆襲に期待し、中堅企業は一部で独自の動きを始めている。
悪くなる	人材派遣会社（社員）	<ul style="list-style-type: none"> 先の見通しが全く立っていない状態で、当社の主力であるホテル関係もいつ回復してくるのかわからない。ゴールデンウィークが来月末からあるため、それに向けてだんだん集客が増えていくと思うが、取引先の中にはゴールデンウィーク直前まで営業しないところもあり、書き入れ時の集客を期待したいが、今の状態を見るとあまり期待はできない。
	職業安定所（職員）	<ul style="list-style-type: none"> 雇用調整助成金（計画）は減少傾向であったが、東日本大震災後、物資調達、計画停電等の影響で活用相談が増えている。